

※イベントによっては、費用の掛かるものもあります。詳しくはお問い合わせください。

開催日	イベント名(先着順の場合の受付開始日)	問い合わせ☎
7/9	夜の森の観察会(7/6)	244・6115(太白山自然観察の森)
7/9～8/21の 毎週土・日	野外炊飯	707・9124(泉ヶ岳かむり) 玉手)
7/9・8/20	野草園風譚	222・2324(野草園)
7/10	木の実で仲間づくり 「かぶと虫、てんとう虫」(7/6)	375・9911(七北田公園都市緑化ホール)
7/15・16	ハーブの魅力 「防虫スプレー&アロマキャンドルづくり」(7/6)	375・9911(七北田公園都市緑化ホール)
7/16	森林まるごと教室 鷹巣山～三方倉山中腹 までの登山道ルート開拓(7/8)	080・1832・0956 (緑を守り育てる宮城県連絡会議)
7/16・8/13	キッズ昆虫たんけん隊(7/7・8/6)	244・6115(太白山自然観察の森)
7/17	癒しの空間「私だけの手のひら苔庭」(7/6)	263・2101(青葉の森緑地)
7/22	星空を楽しむ会	222・2324(野草園)
7/23	作並かっぱ祭り	080・6041・1940(作並かっぱ祭り実行委員会)
7/23	森の学習室「蝶の観察会」(7/6)	090・8257・9245(NPO法人 みどり十字軍)
7/23・24	やまゆり観察会	222・2324(野草園)
7/24	青葉の森の夏の陣 ～手作り水鉄砲で大合戦!～(7/7)	263・2101(青葉の森緑地)
7/24	森の学習室「藍染め体験」(7/6)	090・8257・9245(NPO法人 みどり十字軍)
7/28～8/25	草木あそび展	222・2324(野草園)
7/30	家庭菜園ビギナーズ② 「秋野菜の上手な育て方」(7/6)	375・9911(七北田公園都市緑化ホール)
7/30	秋保大滝植物園写生会(7/6)	399・2761(秋保大滝植物園)
8/2	夏休み企画展「夏の昆虫たち」	375・9911(七北田公園都市緑化ホール)
8/6	森の学習室「夏休み昆虫観察会」(7/6)	090・8257・9245(NPO法人 みどり十字軍)
8/7	緑陰ヨガでフレッシュ(7/6)	222・2324(野草園)
8/20	虫のいどころ(8/7)	244・6115(太白山自然観察の森)
8/21	森の学習室 「木の輪切り材でクラフトづくり」(8/7)	090・8257・9245(NPO法人 みどり十字軍)
9/3～9/14	絵とうろう展	222・2324(野草園)
9/4	大人の森あるき(8/6)	263・2101(青葉の森緑地)
9/10	秋の虫むしめつけ(9/6)	244・6115(太白山自然観察の森)
9/17～25	第58回 萩まつり	222・2324(野草園)
9/18	森の学習室「水の森の野草観察会」(9/6)	090・8257・9245(NPO法人 みどり十字軍)
9/24	森林まるごと教室 鷹巣山～三方倉山中腹 までの登山道ルート開拓(9/3)	080・1832・0956 (緑を守り育てる宮城県連絡会議)
9/24	広瀬川1万人プロジェクト 秋の流域一斉清掃	090・9745・3571(広瀬川1万人プロジェクト実行委員会)
9/25	森の学習室「水の森のキノコ観察会」(9/6)	090・8257・9245(NPO法人 みどり十字軍)
毎週日曜	ガイドウォーク	244・6115(太白山自然観察の森)

せんだい百杜通信とは・・・仙台市が推進する「百年の杜づくり」を多くの方に知っていただくための広報紙です。仙台市やNPOなどが行うみどりづくりの情報や活動を市民の皆さんにお伝えします。

# せんだい百杜通信

—「こよなく北三番丁公園を愛する会」が  
緑の環境デザイン賞を受賞

—「緑と花いっぱい花壇コンクール」に  
応募してみませんか



No.45

2016年 夏号

「せんだい百杜通信」[http://www.city.sendai.jp/midori/1193650\\_2445.html](http://www.city.sendai.jp/midori/1193650_2445.html)

発行日：平成28年7月

発行：仙台市建設局百年の杜推進課 〒980-8671 仙台市青葉区国分町3-7-1

TEL:022・214・8389 FAX:022・216・0637 Eメール:ken010240@city.sendai.jp

掲載されているイラストの  
一部は「わんぱく」「いらすとや」  
からのご提供です。

## 百年の杜づくりとは



仙台市は「杜の都」と言われていますが、この緑豊かなまちの姿の原点は、今から約400年前までさかのぼります。仙台藩祖伊達政宗公が屋敷内に果樹や建築用材となる木を植えるように勤めてできた屋敷林、お寺や神社の林、広瀬川や青葉山の緑が一体となって、まち全体が緑に包まれていたと言われます。第二次世界大戦時の仙台空襲で、まちの緑は焼けてなくなってしまいますが、その後の復興により「杜の都」を代表する緑は、青葉通や定禅寺通などの街路樹、青葉山公園や西公園などに代わってきました。「百年の杜づくり」とは、伝統ある「杜の都」の風土を生かし、市民・市民活動団体・事業者・行政が協働して、百年という時を味方に、地球環境時代にふさわしい「みどりと共生する都市」を創造し、未来へ継承していく取り組みです。

仙台市は、東部地域の緑の再生と緑豊かでより質の高い「杜の都」を目指し、百年の杜づくり推進事業を展開しています。

「百年の杜づくり」<http://www.city.sendai.jp/shizen/midori/100nen/index.html>

## 「ふるさとの杜再生寄附」を募集しています



いただいた寄附金は、東日本大震災により失われた本市東部地域のみどりの再生や創出のための事業に活用させていただきます。

本市のふるさと納税である「仙台ふるさと応援寄附」のひとつであり、1万円以上の寄附をいただいた個人の方へ仙台の特産品等お礼の品をご用意しています。なお、寄附金額が1万円以上の個人の方、3万円以上の団体の方は、寄附いただいた翌年度に仙台市緑化功労者として表彰させていただく予定です。

寄附をいただける際には、事前に百年の杜推進課へご一報ください。

### ■寄附の方法

クレジット決済

納付書

銀行振込

現金

※寄附申込の際は、「寄附金の使い道」で「ふるさとの杜再生」を選択してください。



※詳細については、下記ホームページをご覧ください。百年の杜推進課へお問い合わせください。

「仙台ふるさと応援寄附」[http://www.city.sendai.jp/shisei/1221691\\_1984.html](http://www.city.sendai.jp/shisei/1221691_1984.html)

問 建設局百年の杜推進課 ☎214・8389

## ふるさとの杜 再生プロジェクト

このプロジェクトは、市民・NPO・企業などの皆さまの力を結集し、東日本大震災により甚大な被害を受けた東部地域のみどりの再生を図るものです。

[http://www.city.sendai.jp/midori/1211463\\_2445.html](http://www.city.sendai.jp/midori/1211463_2445.html)

## 平成27年度 第4回 連絡会議が開かれました

3月10日（木）、市民植樹に先立ち、3.11メモリアル交流館（若林区・地下鉄荒井駅舎内）において、第4回連絡会議が開催され、市民植樹の最終調整・確認のほか、本プロジェクトの成功へのヒントとして事務局よりパークマネジメントの事例について話題提供が行われました。



## 平成27年度 市民植樹が行われました

3月25日（金）、海岸公園蒲生地区（宮城野区）において、市民植樹が開催されました。

南蒲生町内会、新浜町内会など地域の方々をはじめ、緑の活動団体、「仙台市百年の杜推進基金」への寄附や苗木を寄附いただいた企業の方々など約350人もの方々にお集まりいただき、約1,500本の苗木を植栽しました。



植栽された苗木には、企業からの寄附によるもののほか、向山小学校（太白区）の生徒がドングリの実から30cmほどの高さまで育てたコナラ、被災地を忘れないための防災教育として企画された「緑のバトン運動（主催：朝日新聞社・森林文化協会・国土緑化推進機構）」で全国の子どもたちが育てたドウダンツツジなどが用いられました。



## 平成28年度 第1回連絡会議が開かれました

6月9日（木）、3.11メモリアル交流館において、今年度1回目の連絡会議が開催され、3月に行われた市民植樹の様子を踏まえ、次回の市民植樹に向けてメンバーの皆さんとの意見交換が行われました。

また、海風の影響により一部の樹木の生育が悪いため、6月上旬に防風ネットを張るなどの樹木の養生を行ったところですが、今後、連絡会議が主体となって、継続的な除草や水やりを行うなどの「育てる」しくみづくりが重要であると確認しました。



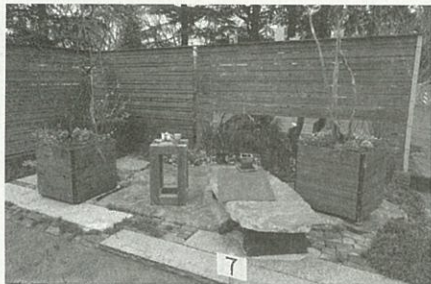
## 植木市が行われました@西公園 4/2~4/29

4月2日(土)に行われた開市式はあいにくの小雨でしたが、開会の前から多くの方々に  
お並びいただき、期間中は延べ6万4千人の方々に越えさせていただきました。

期間中は、植物や園芸用品の展示・販売のほか、緑化相談や園芸講習会(一部有料)  
も受けられます。開市式当日は、先着で苗木のプレゼントもあります。まだお越しになっ  
たことがない方は来年ぜひお越しください!

また、「杜の都仙台の伊達な庭コンテスト」が開催され、エントリーした9社の中から、  
日本独特の美意識「風情」をコンセプトにした大久保庭園の作品が最優秀賞を受賞しまし  
た。なお、来場者の投票によって選ばれる市民賞は、「春の兆し」をコンセプトにした安  
達造園の作品に贈られました。

「植木市」[http://www.city.sendai.jp/midori/1193599\\_2445.html](http://www.city.sendai.jp/midori/1193599_2445.html)



「Cool Japan=風情2(大久保庭園)」



「春兆の景(安達造園)」

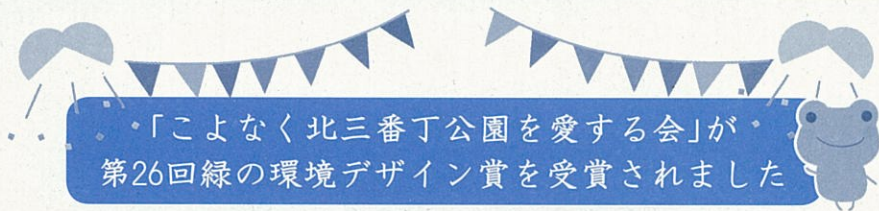


## 新緑祭が行われました@勾当台公園 4/23

式典では緑化功労者や「伊達な庭コンテ  
スト」の入賞者が表彰されました。また、15  
の緑の活動団体等が出展したブースでは、  
各団体の活動紹介やフラワーアレンジメ  
ント、自然素材を用いたクラフトづくりなどが  
行われ、来場者との交流を深めました。

緑に関心のある仲間を作れるチャンスで  
ですので、興味のある方は来年ぜひお越し  
ください!

「新緑祭」[http://www.city.sendai.jp/midori/1196441\\_2445.html](http://www.city.sendai.jp/midori/1196441_2445.html)



青葉区・木町通小学校の南側に位置する北三番丁  
公園。新しく移り住んだ住民が大半を占め、希薄化さ  
れつつあった地域のコミュニティを再生するための  
きっかけづくりのひとつとして始まったのが「癒しの  
花園」づくりです。

木町通市民センターの呼びかけで集まった地域住  
民が一緒になって「こよなく北三番丁公園を愛する  
会」を立ち上げ、プランを作成。今回、そのプランが  
「緑の環境デザイン賞(緑化大賞)(主催:都市緑化  
機構・第一生命保険株式会社)」を受賞し、プラン  
実現のための助成金が副賞として授与されました。

助成金を活用して今年2月より段階的に作業が行わ  
れ、空高く成長した木々が影を落とし、やや暗い印象  
を与えていた公園が、カラフルな花々で彩られ明る  
い印象になりました。

仲間と花々の世話をしていると、「とてもきれいだね」「この花、何て言うの?」と見ず  
知らずの人に話し掛けられることもあるそう。話をしてみると、近くのマンションに新しく  
引っ越してきた人だったりするようです。こうした活動をしていなければ、生まれること  
のなかった会話が生まれています。何度か会話を重ねるうちに、この活動に参加する新しい  
住民も出てくることでしょ。

「癒しの花園」がどのように人と人をつなげてくれるのか、これからがとても楽しみです。

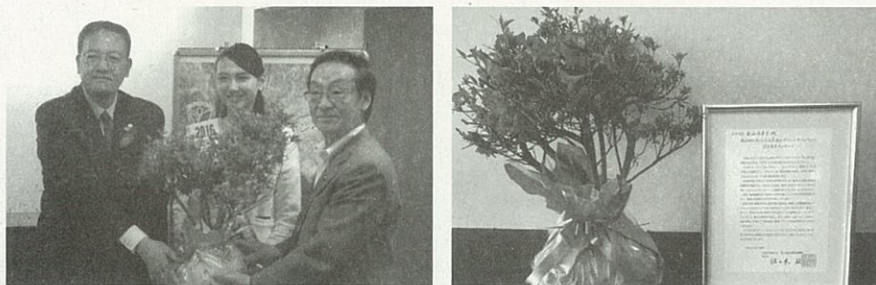


(写真提供:こよなく北三番丁公園を愛する会)

6月10日(金)、仙台トヨペット株式会社の佐藤代表取締役社長、浅野常務取締役営業本部長が、緑の大使である2016ミス・インターナショナル日本代表の山形純菜さんとともに市役所を訪れ、クリスマスツツジの苗木100本を寄贈いただきました。

苗木の寄附をはじめとするこのキャンペーンは、全国のトヨペット店とトヨタ自動車株式会社が主催しており、「人の心に緑の憩いを」をスローガンに昭和51年より行われています。

仙台市との関わりは平成6年に始まり、それ以来毎年、ミツバツツジやシャリンバイなどの苗木を寄贈いただいています。寄贈いただいた苗木は、今年いただいたものを合わせると2,530本にもなります。今回いただいた苗木は、来年3月に行われる市民植樹において海岸公園蒲生地区(宮城野区)に植樹予定です。



(左から佐藤代表取締役社長、山形さん、稲葉副市長)

## 「緑と花いっぱい花壇コンクール」に応募してみませんか？

杜の都の環境づくりの一環として、緑と花に囲まれた明るく住みよいまちづくりを推進するため、今年も「緑と花いっぱい花壇コンクール」を開催します。

皆さんが手掛けている花壇を応募してみませんか。

参加された団体は、審査員からの花壇の講評やアドバイスが受けられるほか、球根や肥料等のプレゼントもあります♪

- 対象【地域の部】 町内会・子供会・老人クラブ等の地域団体の花壇  
施設・会社等の職場の花壇
- 【学校の部】 小・中学校の花壇

幼稚園・保育所の花壇は【地域の部】への応募となります。

■〆切 7月20日(水)

審査は8月に行われ、表彰式が10月17日(月)に行われます。



## あしたのみどりキャンペーンとは

杜の都のみどりをはぐくむことをテーマに、株式会社 河北新報社の主催(協力・後援:仙台市)で行われているもので、2009年にスタートしました。震災後には「失われたみどりの再生」もテーマに加われました。

様々な企業・団体さまよりいただいた協賛金は、仙台市の百年の杜づくり推進基金や震災復興を支援する市民団体に寄付され、仙台市沿岸部被災地域での公園づくりや植樹活動などに役立てられてきました。

8年目を迎える今年は、「みどりを育てたい人」を募集し植樹会を行うとともに、「みどりを育てている人」を募集します。寄せられた情報を河北新報の紙面等で紹介していくことで、市民の皆さま一人一人にみどりをはぐくむ活動を広げたい。けるような市民参加型のキャンペーンを展開していく予定です。



◎あしたのみどりキャンペーン

## 「みどりを育てている人」の情報を募集しています！

家庭や地域、職場など身近なところで木や草花、野菜、果物を育てている人や、みどりをはぐくむための活動に取り組んでいる団体の情報を募集しています。お寄せいただいた情報の一部は、キャンペーンのホームページで紹介するほか、後日取材した内容を河北新報紙面に掲載予定です。

■対象 家庭や地域、職場などで、みどりを育てている方、みどりをはぐくむための活動に取り組んでいる方

※個人に限らず、学校・地域・企業・団体等でも構いません。

■応募方法 下記ホームページ内の「みどりを育てている人募集フォーム」に必要事項を入力し、育てているみどりの画像データ1点を添付のうえ応募してください。

■〆切 7月31日(日)

※詳細については、下記ホームページをご覧ください。お問い合わせください。

「あしたのみどり2016」 <http://www.a-midori.jp>

問 河北新報社 ☎211・1318

## こんな情報を募集しています！

- 子どもの誕生の記念に、自宅の庭に木を植えた
- ベランダにプランターを置き、家庭菜園を楽しんでいる
- 町内会で地域の公園に花壇を作り、草花を育てている
- 窓の外に「みどりのカーテン」を育てている・・・など



◎あしたのみどりキャンペーン